

第66回全国植樹祭

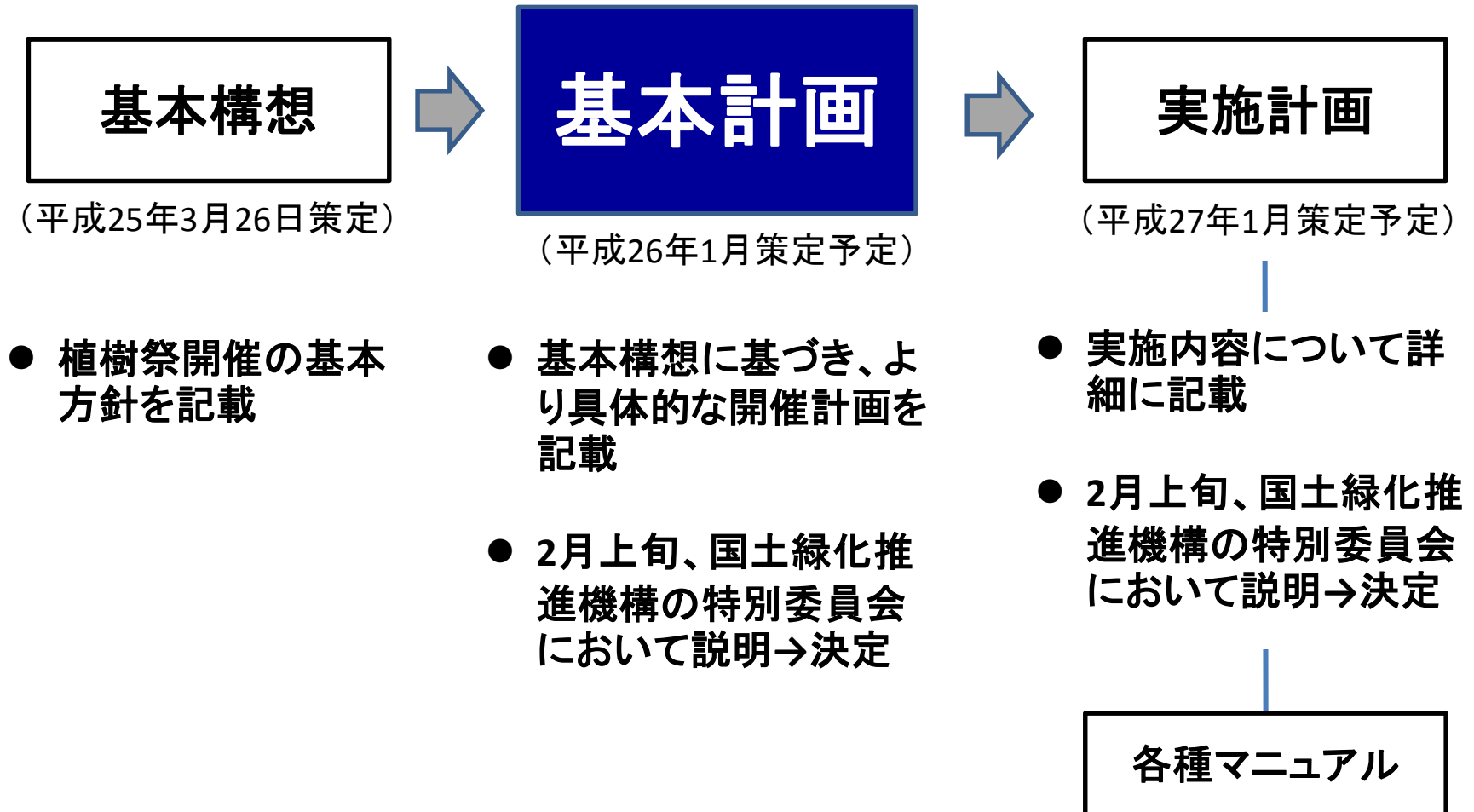
基本計画 中間案

第66回全国植樹祭石川県実行委員会

目 次

全国植樹祭の計画体系	1	2 式典会場イメージ図	9
第1章 開催概要	2	3 主要施設計画	9
1 開催理念	2	1) お野立所	9
2 大会テーマ	3	2) 木製品	9
3 大会ポスター原画	3	第5章 運営計画	10
第2章 式典行事計画	4	1 招待計画	10
第3章 植樹行事計画	5	2 レセプション計画	11
1 基本的な考え方	5	3 会場おもてなし計画	12
2 天皇皇后両陛下の 植樹行事計画	5	第6章 宿泊輸送等計画	13
1) お手植え計画	5	1 宿泊計画	13
2) お手播き計画	6	2 当日の輸送計画	14
3 代表者記念植樹計画	6	第7章 荒天時式典計画	15
4 招待者記念植樹計画	7	第8章 記念事業等	16
第4章 会場整備計画	8	第9章 広報・協賛計画	17
1 施設配置計画	8		

全国植樹祭の計画体系

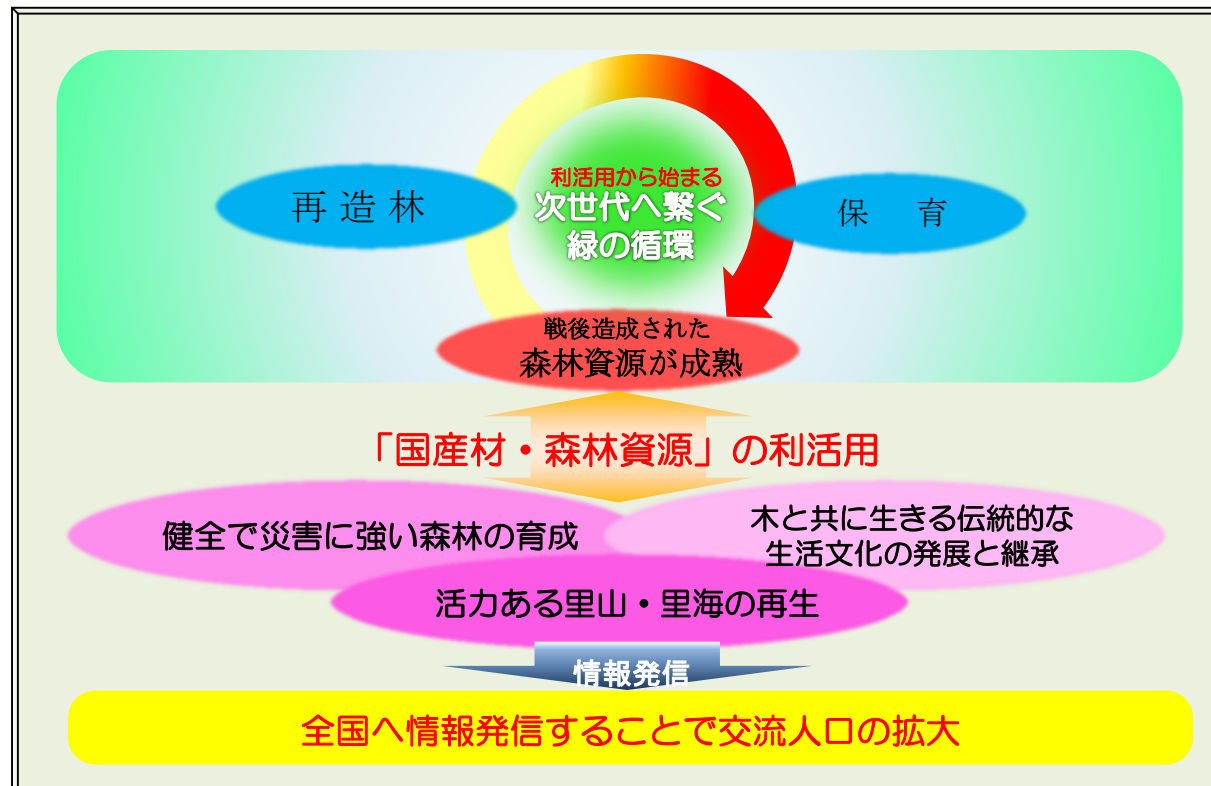


第1章 開催概要

1 開催理念

第66回全国植樹祭では、森林資源を造成・育成していく段階から利活用を通じて整備・保全していく段階への転換をより明確に図っていくため、「国産材をはじめ森林資源を積極的に利活用していく」ことを基本理念に据えることにより、新機軸を打ち出せるような大会とします。

(開催理念のコンセプトフロー)



2 大会テーマ

※ 全国公募により選定しました。

「木を活かし 未来へ届ける ふるさとの森」

◎作者：^{やまじ}山路 ^{かな}佳奈さん（河北郡内灘町）

[講評]

現代に生きる私たちが森林資源を適切に利活用することで、人類共通の財産である健全な森林を次代に伝えていこうという意思を明確に表現している。

3 大会ポスター原画



※ 石川県内の小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に募集し、選定しました。

◎作 者：^{ふたの}二野 ^{さや}紗耶さん
（石川県立金沢西高等学校2年生）

◎画題：「大きな木のおうち」

[講評]

両手を広げた少年が、明るくさわやかで元気を感じさせ、各世代を描くことで、健全な森林の次世代への継承を表現している。

第2章 式典行事計画

時間	区分	プログラム	進行内容等
10:10	プロローグ	プロローグ案内	石川県の豊かな自然と、その自然に培われた歴史・文化・産業等を表現
		歓迎演出(アトラクション)	
10:50		記念式典のご案内	
11:00	記念式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	大会会長(衆議院議長)、石川県知事
		表 彰	森林や自然を育み守ってきた緑化功労者への感謝として表彰
		苗木の贈呈	贈呈:みどりの少年団 受贈:農林水産大臣、環境大臣
		天皇皇后両陛下の お手植え・お手播き	
		参加者代表記念植樹	県内外特別招待者
		大会テーマの表現(アトラクション)	大会テーマ「木を活かし 未来へ届ける ふるさとの森」を創造的に表現
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
		閉会のことば	石川県議会議長
11:50		天皇皇后両陛下 御退席	
11:50	エピローグ	エピローグ案内	未来へのメッセージを発信し、来場者参加型演出により会場全体を盛り上げ
12:20		エピローグ演出(アトラクション)	

第3章 植樹行事計画

1 基本的な考え方

- 植樹行事の実施にあたっては、本県の自然条件や会場特性に適した在来の樹種、県民に親しみのある樹種を選定するなど、地域特性に応じた森林づくりを目指します。

※選定樹種については、植樹専門委員会での検討を踏まえ、第3回実行委員会(1月開催予定)において報告

2 天皇皇后両陛下の植樹行事計画

1) お手植え計画

- 式典会場内に設ける天皇皇后両陛下の御座所となるお野立所前で、それぞれ3本の植樹とします。
- お手植えされた記念樹は、公園内に移植後、森づくり運動の象徴として大切に管理・育成します。



【先催県の事例(H25鳥取県)】

2) お手播き計画

- お手播きは、式典会場内のお野立所前に設けるお手播き所（箱）でそれぞれ2種類の播種とします。
- お手播きされた種子は、石川県が管理・育成し、県内の公共施設等に広く「記念樹」として配布します。



【先催県の事例（H24山口県）】

3 代表者記念植樹計画

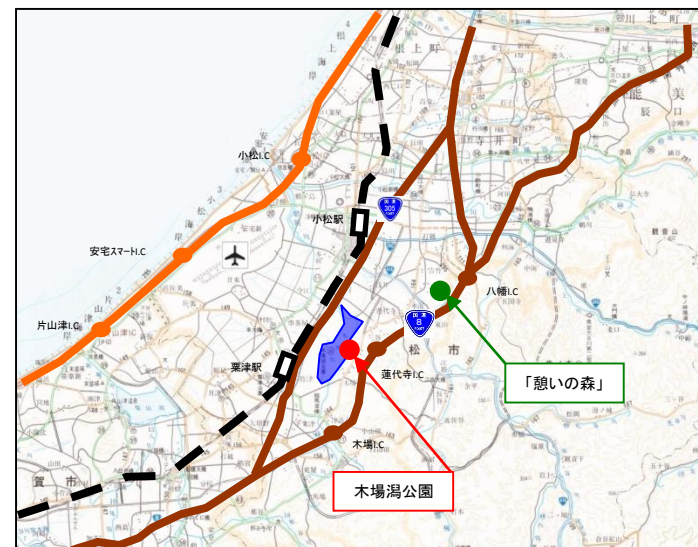
- 参加者代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に、お野立所の横に設置する特別招待者席前で行うものとし、それぞれ1本ずつ植樹を行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。



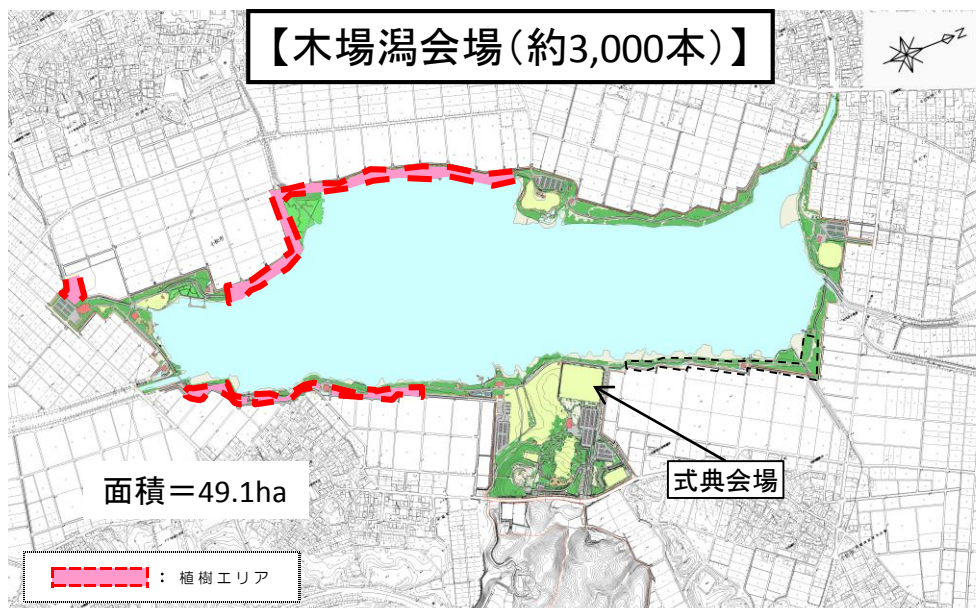
【先催県の事例（H25鳥取県）】

4 招待者記念植樹計画

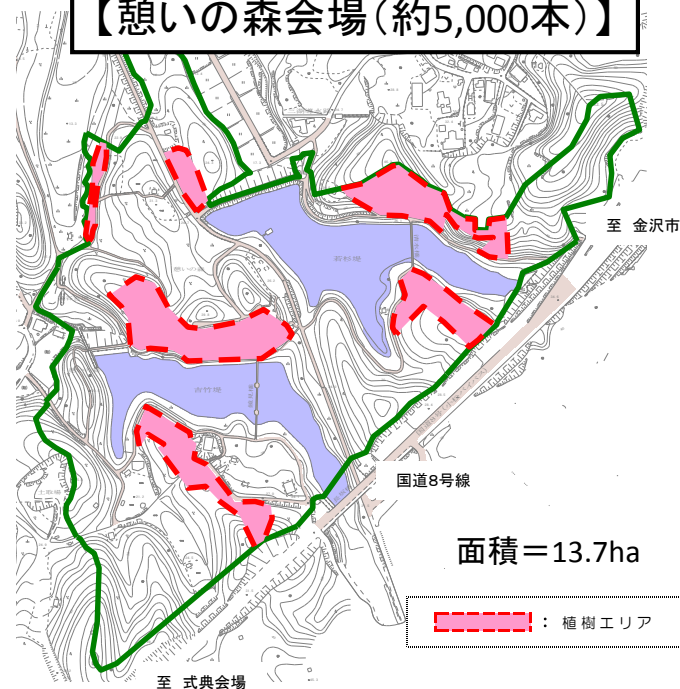
- 参加者の記念植樹は、木場潟公園内及び憩いの森（小松市若杉町他）で行います。
- それぞれの会場特性等に合わせて選定された樹種を各自1本の植樹を行います。
- 植樹用苗木は、「どんぐりのホームステイ、苗木のホームステイ」により子どもたちや企業・団体等が育てた苗木も使用します。
- 県外招待者は、午前（式典前）に植樹、県内招待者は、午前（式典前）・午後（式典後）に分かれて植樹します。



【木場潟会場（約3,000本）】



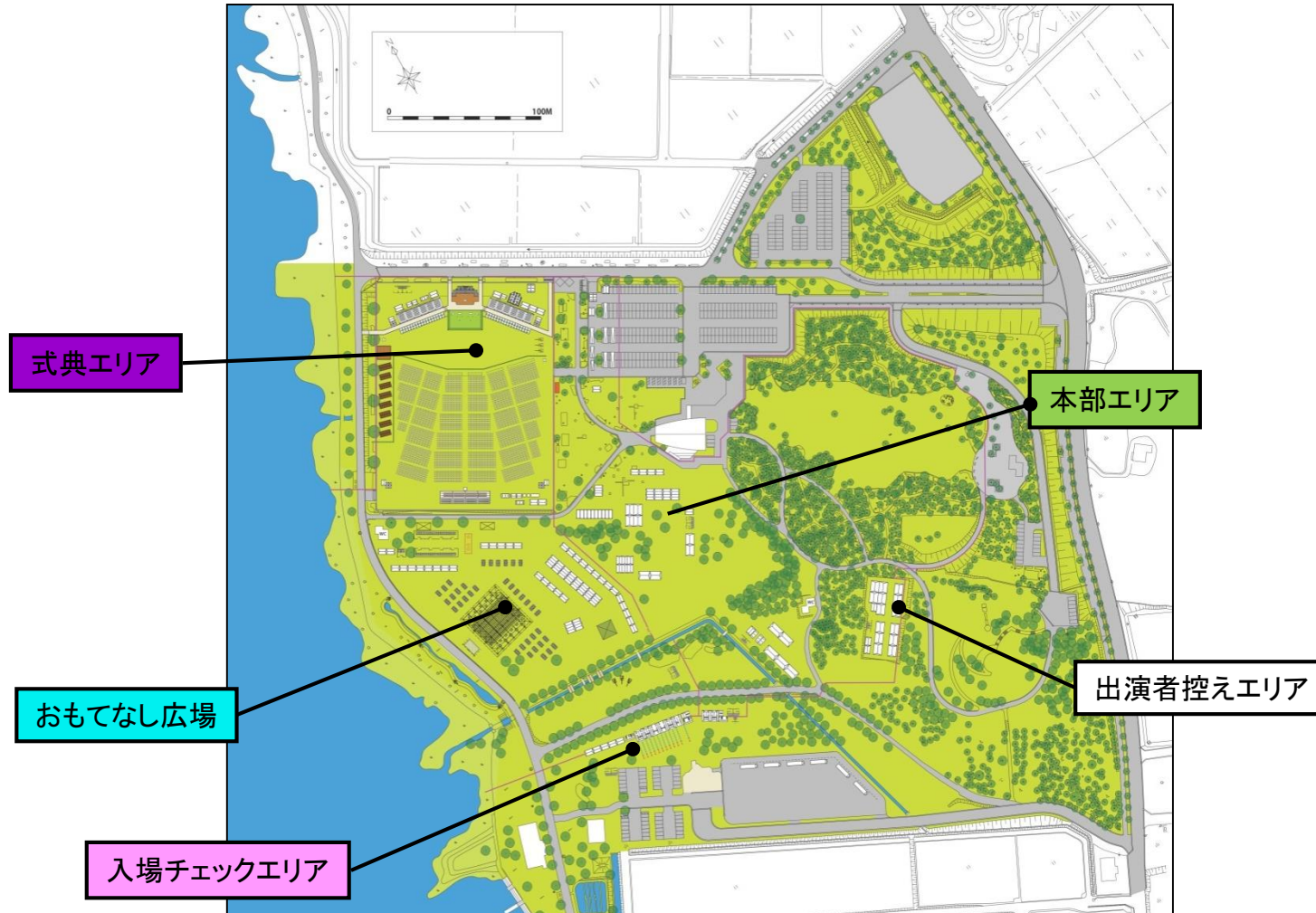
【憩いの森会場（約5,000本）】



第4章 会場整備計画 ー 施設設計画

1 施設配置計画

○ 会場は、式典エリア・本部エリア・おもてなし広場・入場チェックエリア等にゾーン分けします。



2 式典会場イメージ図

- お野立所は、白山と木場潟湖面の両方の眺望が望める場所に配置します。

3 主要施設計画

1) お野立所

- お野立所は、県産材を使用した仮設構造物とします。
- 大会の基本理念である「森林資源の利活用」を表現するとともに、周辺の景観と調和したものとしてします。
- 大会終了後の有効利用に努めます。

2) 木製品

- ベンチ・プランター等の木製品には、間伐材などの県産材を使用します。



【式典会場イメージ図】

〔木製ベンチ〕



〔木製プランター〕



【先催県の事例(鳥取県)】

第5章 運営計画

1 招待計画

区分		人数	備考
中央特別招待者①		40人	公益社団法人国土緑化推進機構会長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長、国務大臣、林野庁長官、石川県知事、県議会議長、次期開催県知事、開催市長 等
特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議長 等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小 計②	420人	
一般招待者	県外一般招待者	1,740人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	5,800人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民等
	小 計③	7,540人	
招待者小計(①+②+③)		8,000人	
本部員・協力員④		2,000人	実施本部員、協力員、出演者、ボランティア
合計(①+②+③+④)		10,000人	

県外招待者:2,000人 県内招待者:6,000人
 中央特別招待者等を除き、全員バスで移動

2 レセプション計画

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第66回全国植樹祭の開催県として、招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

〔主 催〕 石川県

〔開催日時〕 全国植樹祭開催日の前日 18:00～19:00(予定)

〔会 場〕 両陛下の宿泊施設内

〔出席者〕 400名程度(予定)

- ・中央特別招待者(公益社団法人国土緑化推進機構会長、
国務大臣、石川県知事、次期開催県知事、開催市長等)
- ・県外特別招待者(県選出国會議員、緑化功労者、代表表彰者等)
- ・県内特別招待者(県議會議員、市町長、緑化功労者、
実行委員会委員等)

3 会場おもてなし計画

区 分	施設名	内 容
おもてなし広場 (式典会場に隣接)	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	歌や踊り、郷土芸能等の披露
	湯茶接待所(お招き茶屋)	参加者に湯茶、ミネラルウォーター、お菓子等を提供
	販売コーナー	石川県の特産品や飲食物等を販売
	展示コーナー	石川県の森林、林業、観光等について展示紹介
	臨時郵便局	記念切手の販売と郵便、宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護
	休憩テント	休憩用のテントを設置
植樹会場	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供・応急処置

4 その他

昼食計画、医療・衛生計画、消防・防災・警備計画を作成し運営

第6章 宿泊輸送等計画

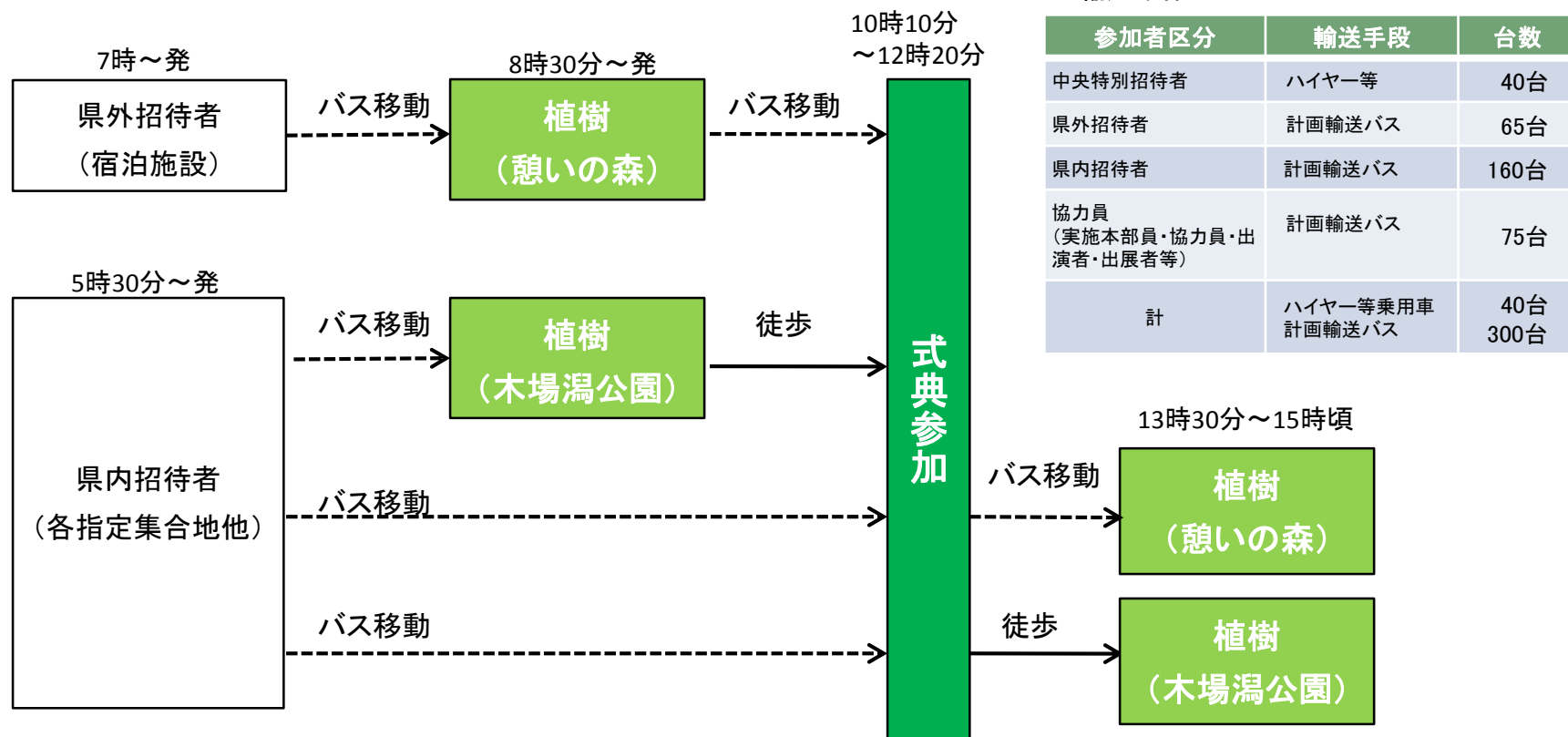
1 宿泊計画

- 宿泊参加者は、式典・植樹会場の近隣地域などで、実行委員会が指定する施設（加賀温泉郷を中心に選定予定）に宿泊することを原則とします。
- 県外招待者の方には、石川の食材や自然・文化・歴史等とのふれあいが図られるよう「おもてなしの心」を持つ宿泊施設にご宿泊いただきます。



2 当日の輸送計画

式典当日の道路混雑状況等のリスクを想定し、極力移動時間がかからない最短ルートを設定します。



※高齢者・障がい者等に配慮した移動手段については、実施の段階で検討

第7章 荒天時式典計画

会場 こまつドーム(小松市林町地内)

参加者一覧

区分	内訳	人数(人)
中央特別招待者	機構会長、国務大臣、知事、次期開催県知事等	40人
県外招待者(特別・一般)	県選出国會議員、緑化功労者、受賞者等	1,960人
県内招待者(特別)	県議會議員、市町長、緑化功労者、実行委員会委員等	200人
本部員・協力員	実施本部員、運営ボランティア等	500人
計		2,700人

※ 晴天時参加者から、県内一般招待者、出演者等を除く構成となる。

式典プログラム

参加者入場	
10:50	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等到着
式典	
11:00	天皇皇后両陛下下御到着 開会のことば 国歌斉唱 主催者あいさつ 表彰 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下下御退席
12:00	参加者退場

○ 晴天時の3部構成を式典のみとし、大会テーマの表現(アトラクション)、参加者代表記念植樹を除く構成とする。

式典時間:40分

第8章 記念事業等

第66回全国植樹祭の開催に向けて、気運の醸成と、基本理念である「森林資源の利活用の推進」を広く周知・普及するため、記念事業等を実施する。

【記念事業(案)】

全国植樹祭の開催理念を達成するため、石川県実行委員会が主催する事業

- ・ プレ全国植樹祭
- ・ 記念シンポジウム
- ・ カウントダウンセレモニー(カウントダウンボード除幕式等)
- ・ 記録誌・記録映像の作成 など

【関連事業】

関連団体等が主催する事業及び石川県実行委員会と共催する事業

- ・ 第44回全国林業後継者大会
- ・ 地域リレー植樹(県内19市町でリレー形式で実施する植樹イベント)
- ・ 全国植樹祭の開催理念に協賛いただいた企業・団体等が実施する緑化イベント など

第9章 広報・協賛計画

広報活動や企業協賛等を通じ、大会の開催を広くPRするとともに、開催への気運醸成を図る。

【広報計画】

広報媒体の特性を活かした情報発信により、効果的な広報活動を実施する。
北陸新幹線金沢開業も見据え、県内外の多くの方々に関心をもってもらえるよう、情報提供を実施する。

- ・ インターネット、マスメディアによる情報発信
- ・ 市町や企業・団体との連携による広報活動
- ・ シンボルマークを使用した広報活動
- ・ 植樹祭情報誌の発行、PRグッズの作成・配布

【協賛計画】

資金協賛をはじめ、物品提供や役務提供など、多様な形態で広く企業や団体から支援を募る。

資金協賛

資金提供による協力

物品協賛

物品提供による協力

その他協賛

機器等貸与、役務提供
広告掲示等による協力